

あくせす news

第 272 号
2025 年 2 月 14 日
発行者
呉市医師会病院
地域医療福祉連携室
あくせす

節分が過ぎ、いよいよ春の到来を待ちわびる頃となりました。
医師会の垣根では深緑の葉の中に鮮やかな色の椿が咲き始めています。
さて、先生方にはいつも **あくせす** をご利用いただき、ありがとうございます。
入院・外来・特殊外来とも電話およびFAXにて受け付けております。
引き続き一層のご利用・ご紹介のほど、よろしくお願ひいたします。



ZOOM UP★ 放射線科

1月28日の関係医師懇談会において放射線科の主な検査の紹介と検査時に注意している点などを中心に部署発表を行いました。

検査や撮影部位によって患者さんへの説明内容や注意点は異なりますが、ほとんどの方が検査前には不安があり、緊張されています。当院ではわかりやすい検査の説明と患者さんの不安を少しでも取り除けるように検査前後のきめ細やかな声かけを心掛けています。

今後も安心・安全な検査および質の高い検査に努めて参りますのでご紹介のほど、よろしくお願ひいたします。

【予約受付先】放射線科/あくせす

0823-25-7708



造影剤注入圧のグラフでダブルチェックを行うなど、造影剤使用時は細心の注意を払っています。



ワークステーションで画像再構成を行い、読影や患者さんに説明がしやすい3D画像を作成しています。



クッションを使用するなど撮影部位の工夫やヘッドホンなどの機械音の緩和を行っています。



可能な限り女性技師が対応し、男性技師が対応の際は女性スタッフが付き添います。

行事食 Topics★ 「節分の日」



栄養科では入院中の患者さんにとって楽しみの一つである食事に、少しでも季節の移り変わりを感じていただけるよう、行事食を取り入れています。

2月2日節分の日には邪気を払い、福を呼び込むといわれる節分メニューを提供しました。脂の乗ったイワシは3枚におろして骨をできるだけ取り除いて食べやすくし、彩りも良く爽やかな風味が感じられるレモンを添えました。また、福豆は煎り大豆が一般的ですが、当院では豆に見立てた食べやすく、ちょっと懐かしい味の節分ボーグ（卵ボーグ）を提供しました。

今後も栄養科スタッフ一同、安全で患者さんに喜んでいただける食事作りに努めてまいります。



★1月1日～1月31日★

※届出日数（一般病床）

平均入院患者数	平均病床利用率	平均在院日数*	紹介外来患者数	医療相談患者数
110.3人	55.7%	20.9日	91人	184件

Happy Valentine's Day!



❖関係医師懇談会 報告（1月28日）❖

『当院で診断のついた 肺結核患者について』

内科部長 江木 康夫



日本では2021年の新規結核患者の罹患率は人口10万対9.2と初めて10を切り、結核低蔓延国の仲間入りを果たしました。

しかし2023年度は全国で年間1万人以上の新規感染者及び約1600人の死亡者を認めています。今回、結核の総論と当院で診断した肺結核患者4名の症例報告、当院での結核感染対策及び若干の公衆衛生学的データについて発表しました。

肺結核の主な症状としては、・2週間以上持続する咳や痰、・血痰や喀血、胸痛などの呼吸器症状、・発熱（微熱とは限らない）、・寝汗、食思不振、全身倦怠感、体重減少等の全身症状、・初期には無症状のことも多い等が挙げられます。

当院で経験した肺結核の4症例は上記の症状や血液検査異常などのいずれかを伴っており、CTでの評価を必要としました。また、2症例は胸部レントゲンで空洞性病変を伴っており、肺結核の可能性を考慮しました。

1症例は非結核性抗酸菌症との鑑別が必要でした。1症例は胸部単純レントゲンでの異常所見の指摘が難しく、CTにて肺結核の可能性が示唆されました。いずれの症例も肺結核が疑われた段階で個室隔離し、感染対策を行いました。その後、喀痰での結核菌PCR陽性で肺結核と診断し、結核専門医療機関へ転院・加療されました。

なお2023年の結核登録者情報調査年報では、新規結核患者の罹患率は人口10万対8.1と年々減ってきております。都道府県別では関西圏の罹患率が高く、東日本の罹患率は低い傾向にあります。しかし18道府県では前年度より罹患率上昇を認めており、順調に罹患率が減少していない地域も存在すると考えられます。

はじめに

- 日本の2021年の新規結核患者の罹患率は人口10万対9.2と初めて10を切り、低蔓延国の仲間入りを果たした。
- これは医療や生活水準の向上により新規結核患者数は年々減少傾向にあると言われている（ただしCOVID-19の影響の可能性も指摘あり）。
- しかし全国で年間1万人以上の新規感染者及び約1600人の死者がいる（人口10万対での死亡率は1950年146.4→2023年1.3）。

結核とは

臨床的特徴

- 感染経路は主に気道を介した飛沫核感染（第2類感染症）。
- 感染源の大半は喀痰塗抹陽性の肺結核患者であるが、ときに培養のみ陽性やまれに菌陰性の患者や肺外結核患者が感染源になることがある。
- 感染後数週間から一生涯にわたり臨床的に発病の可能性があるが、発病するのは約30%程度。
- 若い患者の場合、発病に先立つ数ヶ月～数年以内に結核患者と接触歴を有することあり。

2023年結核登録者情報調査年報の結果①

表 新登録結核患者数と罹患率

	2020年	2021年	2022年	2023年
新登録結核患者数(人)	12739	11519	10235	10096
罹患率(人口10万人対)	10.1	9.2	8.2	8.1

- 結核罹患率10以下を結核低蔓延国の水準と言われている。
- 日本の結核罹患率は、米国（2.6 2022年）等他の先進国の水準に年々近づき、近隣アジア諸国に比べても低い水準である。
- ただし2020年以降の結核罹患率の減少については、COVID-19の影響も指摘されている。

2023年 結核登録者情報調査年報集計結果より

2023年結核登録者情報調査年報の結果②

2023年新規結核罹患率（人口10万人対 全国平均8.1）

結核罹患率の低い5都道府県	結核罹患率の高い5都道府県
岩手県 3.6	大阪府 13.1
山梨県 4.0	大分県 12.2
山形県 4.4	奈良県 10.8
宮城県 5.2	兵庫県 10.2
長野県 5.2	京都府 9.9

- 東日本に罹患率の少ない都道府県が多い
- 広島県は7.8と全国で28番目に低い（前回7.1）18道府県で増加

2023年 結核登録者情報調査年報集計結果より

次回の関係医師懇談会は3月25日（火）を予定しています。

詳細が決まり次第ご案内いたしますので、ぜひご出席のほど、よろしくお願いいたします。

呉市医師会病院 地域医療福祉連携室 あくせす

<http://www.kure.hiroshima.med.or.jp/hp/>

電話 (0823) 32-7576 (直通) 院長 先本
FAX (0823) 32-7507 事務 中野

室長 中間 MSW 森下 MSW 菅原 MSW 卷幡
事務 向井 事務 井上 事務 岩畔 事務 村田

